



# 黄河の森

## K F G

発行／特定非営利活動法人  
黄河の森緑化ネットワーク  
常務理事・事務局長／矢野正行  
編集責任者／小川良太  
〒650-0011  
神戸市中央区下山手通り2丁目12-11  
神戸華僑会館内  
TEL・FAX:078-392-8328  
E-mail:kouganomori@s6.dion.ne.jp  
URL:http://www.k3.dion.ne.jp/~kougakfg  
IP:05031111874



歴史散歩（高砂市石宝殿）



ああ あの大河 太古より 流れる誇り  
ああ その緑 永久に たやさぬ心  
燃えたつ生命 ここに ここに

### CONTENTS

- P.2 内モンゴル オトカ前旗沙漠化土地の変貌
- P.2 15年度事業実施への準備が進む
- P.3 KFG設立よびかけ人 柴生芳氏が逝去
- P.4 絵本からのエコ・メッセージ20
- P.5 黄土高原の植物23
- P.6 庭木の健康診断13
- P.6 親睦会のご案内

# 内モンゴル オトカ前旗沙漠化土地の変貌

『黄河の森緑化ネットワーク』事務局長 矢野 正行

今年の植樹状況の検認と来年度事業の協議のためのオトカ前旗訪問は、初冬の11月中旬になり大変な寒さが予想されたのですが、現地滞在の3日間は大変な好天で全く寒さを感じませんでした。いわゆる日本で言う「小春日和」でした。

現地オトカ林业局担当者の案内で、4年前の平成23年に植樹をしたオトカ前旗城川鎮フルス村の1期植樹基地を訪れたのですが、11月半ばと云うのに植樹した沙漠化土地一面びっくりする程の緑に覆われ、環境の変化が良い方に激変しているのを目の当たりにしました。担当者の説明によると、今年は夏場の雨が多く近年になく木々の成長が良いとの事でしたが、植樹した地域は砂嵐もほとんど起こらず、狭い地域の事ではあるが、環境は着実に好転しているとの事でした。

このような1期4年前に植樹した場所の成果を検証し、今年の植樹地「ハリサリ」村へ向かいました。時期が初冬であったため、写真でははっきりした緑の確認は出来ませんが、現地では、よく見ると沙柳、楊柴共に活着率も良く生育も良いようでした。やはりこれも今年の夏場雨が多く、年間の65%に当たる約250mmも降ったのが影響したようです。来年以降も多くの降雨がある事は期待出来ません



4年前の植樹場所の状況



昨年3月に植付けた苗木の生育状況

ので、植樹地の管理を徹底して病虫害の撲滅ならびに火災防止を重点的に推進し植樹地の育苗に配慮する事が重要であると痛感しました。また、ヒツジ等の無許可放牧や薪材採集のための人の立ち入りも十分に管理監督する必要がある事は言うまでもありません。また、地元側の担当者も植樹後の継続的な育苗管理・監視の必要性を訴え

ており、そのための日本側の支援の可能性についての打診もありました。

オトカ前旗周辺の沙漠化土地は自然環境が厳しく放っておくとどんどん荒地となるが、人が手を入れて植樹し適切な管理をすれば自然の厳しい分だけ環境の回復も早いと云う事を実感した次第です。今年も来年もそのあとも植樹を継続して行くことを決意したところです。それと共に地元の人達との交流を図ることの大切さも改めて感じているところです。今年度の10月に開催したワーキングツアーの際には、カウントパートの一翼を担っているオトカ前旗婦女緑化協会の職員の方々の参加も得て共同植樹をすることが出来ました。今後はより多くの地元の人々と共に粘り強く植樹活動を進める事が最も重要であると実感しています。



植樹に参加した婦女緑化協会の職員

## 15年度事業実施への準備が進む

現在会では蘭州市と内モンゴル・オトカ前旗の両地域で植樹活動を行っています。オトカ前旗の事業については2011年度から日中緑化友好基金よりの支援を得て事業を継続しているところですが、昨年10月31日に15年度の支援金額が決定されました。今回の決定金額は440万円です。オトカ前旗の事業は昨年から2期の事業に着手しています。植樹地をハリサリ村に移しており、延べ3年間の事業規模は100haになります。事業規模は1期と変わりませんが支援金の額は縮小しています。金額に

関していえば為替変動と中国国内の物価上昇のダブルパンチで、実質的には大幅な目減り状態です。このためオトカ前旗には、事業費の遣り繰りには努力をしていただいています。

一方蘭州市の事業は昨年で第3期の事業は終了しました。15年度からは新たに第4期として3年間の事業を実施する事に成りました。植樹地は3期と同じく蘭州市蘭泉県老虎地区です。蘭州市との事業協定書の締結の協議も昨年末に終える事ができました。事業費はこれまでと同じく会の単独負担で実施する予定です。会員の皆様の一層のご支援をお願いします。

# KFG設立よびかけ人 柴生芳氏が逝去

昨年9月初旬、蘭州市より柴生芳氏逝去の報が飛び込んできました。氏は蘭州市臨洮県長として勤務しておられました。8月14日、夜まで及んだ会議の後一人執務室に残っておられましたが、翌朝息を引き取った姿で発見されました。享年45才。皆様もご承知のように柴さんが留学生として神戸に在住されていた折に故郷への支援を日本社会に呼びかけ、それが設立の契機となりその後の進展にも大いに力を尽くしていただきました。特にカウンタートの蘭州市南北両山緑化指揮部との困難な国際交渉に当たっては、その能力・誠実さを生かして任を果たされました。そして、この14年間の中国での植樹事業が実現しました。



柴さんは留学生活では博士号の取得はもちろんこと、留学生全体の待遇改善を図るなど留学生の取りまとめ役としても活躍されました。柴さんは中国でも有数の貧困地域の出身で、苦学の末研究者生活に入られました。帰国後は故郷で行政の世界に転じられました。そこには貧しい故郷の社会の向上を願い、神戸でも我々に示された社会への熱い思いが窺われます。その持前の誠実さ・周りの人々への思いやりは、今も会員が集まった折に事あるごとに氏の名前が出ることにも表れています。

奥さんと幼い娘さんを残し思い半ばで逝かれたことは、ご家族はもちろんのこと我々会員にも痛恨の極みです。今はご冥福をお祈りすると共に、緑化・友好促進事業を末永く継続することが柴さんに報いる事だと考えています。

## 柴生芳さんを偲んで

### KFG会員 村上鷹夫

中国を訪問した際には私たちの面倒を大変良く見ていただいた、元気で活動的な柴さんが亡くなられた報に昨年の夏に接しましたが半年近くたった今も信じられない思いです。

以下は柴さんと行動を共にして、その人柄を感じた個人的な思い出です。

毎回行っている中国の人達との植樹の後、美味しい料理と白酒の夕食を楽しんだ後の事、柴さんに帰り道の途次にある夜店に行こうと誘われて数人で行きました。その時柴さんは水餃子とビールを注文されました。水餃子はテーブルの上に満杯、ビールはビンでグラスが無いのでプラスチックのお椀で飲みました。すでに夕食で満腹になりその上酔っ払っているのに、その水餃子とお椀のビールの味は今も忘れられない思い出です。精算は柴さんがされました。その時のビンビールの値段は3円で中国の人達の生活の一端を知ると共に、柴さんの心使いの優しさに触れた一時でした。また蘭州に着いて空港から市内に入る際にバスが最初に黄河を渡る橋からの夜景が綺麗だとある時夕食の後、柴さんがタクシーで連れて行って下さいまし

た。橋のたもとで河原に下り、ゴロ石と水溜りの縁を歩きましたが、その夜景の美しさと酔っ払って覚束ない足下が心配で酔いもさめる思いでした。

平成18年、蘭州市の交流団の人達が来日され、当会の国内活動地の神戸市の住吉川上流の砂防堤の上に桜等落葉樹を記念植樹されました。我々会員が毎年草刈りと植樹をしていますが、最近ではその桜で花見が出来るようになりました。翌日は一同で姫路城を見学し、鳥取大学の乾燥地研究センターで勉強し、帰りに鳥取砂丘に行きました。砂丘では柴さんは余程嬉しかったのか、疲れた身体を物ともせず砂丘の頂上から一目散に波打ち際まで走って降りられました。そして大声で叫びながら砂浜に「中国」と書かれた後、急な砂丘を一気に登って来られ皆の拍手に満足そうに答えられていました。

1月2日にテレビを見ていると、宇宙飛行士の若田光一さんと元野球選手の田口壮さんが対談されており、その中で若田さんが言われていたのは「夢・探求心・思いやり」の3つの言葉が大切と。柴さんはその言葉を文字通り実行されました。そして、中国と日本の人達が黄河の森ネットワークを通じて友好を深め、両国の地で皆で植えた

木がすくすくと大きくなっています。柴生芳さん本当にありがとうございます。御座いました。合掌。

### KFG会員 中谷安廣

昨年(2014年)8月15日未明柴生芳さんが急逝されました。

メディア、蘭州の地元紙は、深夜まで公務の後、公務室で休憩中に急逝(過労)した若き県知事(臨洮県)の生立ち・人柄と功績を3面に亘って、振返り高く讃え、僅45歳と惜しみ、見習おうと呼掛けていました。「柴県長、県民はあなたを決して忘れない不会忘記您」。賞賛の輪は地方から日を追って広がり、国家として讃えられるに至っています。

そして今、私たちは、神戸「黄河の森・緑化ネットワーク」からも大きな感謝と賞賛をお送りし続けたいと思います。

柴さんは、地方の農家出身(6人兄弟)。首席で北京大学に入学。卒業後、神戸大学に留学(97年)。考古学(木簡/竹簡)の研究で修士、博士号を取得。神戸在住の6年間に華僑の人たちなど地域の活動に積極的に参加、世話役も引受け活躍されたとのこと。帰国後は考古学の研究機関に携わられたよ

うですが、中国は有能の柴さんを考古学の研究に留め置かず地域・行政改革のリーダーとして引出されていかれたのではないのでしょうか。

亡くなってなお、見習おうと呼びかけられているのは、残念極まりませんがさすが柴さんです。

一昨年（13年）10月、植樹ツアーで蘭州を訪問したとき、柴さんが夜遅くホテルに駆けつけてくれました。日中がギスギスする中、行政の要人が会合に出ることは難しい状況にあったようですが、任地からお土産を持って駆けつけてくれました。久しぶりの再会を喜び合いましたが風邪の熱で赤い顔をされていました。私たちは誰よりも他人を思い遣り、私たちの活動に対しても精一杯支える柴さんに、感謝すると共に無理をしないようお体大事にとホテルから見送りました。

それから1年、柴さんは急逝。昨年（14年）10月、私たちは同じホテルで、奥さん（祁雪麗さん）にお悔やみを伝えることになりました。保育園に通う3歳の女の子さんを遺して逝ってしまったと静かに涙を拭いておられました。私たちはこれからも植樹ボランティアを継いで奥さんやお子さんの成長を見守っていきたく願っています。

柴さんは、私たち植樹ボランティア活動の発起人であり10年余り続く活動の支えでした。私たちは、

その大きな支えを失うことになりましたが、心ある有能の柴さんを仲間として共に活動できたことに感謝し、誇りとしたい。これを糧に緑化と日中交流の遺志を継いで行きたいと思います。

### KFG会員 李雲精

2014年9月初め黄河の森事務局からのメールで柴氏の訃報を知る。また、知り合いの元留学生からも電話で連絡を受け、驚天動地の思いで原因を色々思考すれど全く見当がつかない。只々思考の堂々巡りで2013年10月黄河の森の通例ツアー時に彼は風邪を引いておられたが、無理をおして蘭州市の「ホテル飛天」に来られ約一時間ほど談笑をして互いの近況を語り合ったものでした。その時も盛んに咳き込んでおられ、持ち合わせの飴を全部差し上げたのが最後の思い出となった。

1991年神戸華僑総会の新任第一回目の理事会に蔡勝昌氏の紹介で理事（留学生代表）として入会された。会議終了後蘭州市出身との事なので一度蘭州の観光旅行を計画して欲しいと頼んだ。が頼んだ私の知らない内に初めての観光旅行に十数名が参加したそうです。翌年二度めの蘭州旅行には参加させてもらった。旅行は市内観光と蘭州市緑化指揮部の幹部との顔合わせの接触だけであった。その後、当時柴生芳氏が勤務しておられた甘粛省の考古研究所（非常に古臭

い三階建てのセメントむき出しの建物）の中に案内され薄汚れたドアを開け入って驚いた。そこには国宝級の木簡、竹簡が山積みになっていた。室内では三名の若い研究員が黙々と作業をしておられた。彼らから非常に丁寧な応対をうけ、これらの木簡・竹簡を手にとり拡大鏡（TV画面に映し出される）であれこれと見せてもらった。初めて間近に見る数千年前の出土品に大変興奮したことを今も覚えている。帰路は彼の親戚が購入されてまだ居住もされていない新築マンションで家庭料理の餃子をつんこ盛りにして大歓迎を受けた。この時の旅行の初印象として彼は大小意をあまり気に掛けないが、一面すごく真面目で約束はしっかり果たす人だとの印象を強くした。

この旅行後、神戸華僑と日本の人々の努力で「NPO黄河の森ネットワーク」が結成された。蘭州市側の窓口の緑化指揮部との困難な調整に彼は奔走してくれたもので、三年目の旅行が第一回の黄河の森のワーキングツアーとして実現し、多くの人の傘下を得た。このツアーは彼が亡くなった昨年まで実に一三年（一三回）も続いた。蘭州市緑化指揮部とは非常に親しい交流をこれからも長く継続することを彼の霊前に約束し、心に強く持ち続けていきたいと決心した次第です。本当に惜しい人が亡くなられ残念です。ご冥福をお祈りいたします。

\*\*\*\*\*

## 絵本からの エコ・メッセージ 20

### 「旅の絵本Ⅱ」

児童文学者 畑中弘子

字のない絵本をとりあげるのは確か二度目。それも同じ作家「安野光雅」の作品です。今回はすばらしいヨーロッパの旅にでかけましょう。

まず見開き画面いっぱいには壮大な田園風景がひろがります。丸太に腰をかけている農夫がひとり、大きな木の下で一休みです。はじめはひとりだった人物がページをめくる毎に増えていきます。羊飼いたち、おしゃべりをしている婦人たち、頭に荷をのせて歩いている人など、人の営みが見事に描かれていきます。

めずらしいレンガづくりの建物も画面をおうごとに増え、大きくりっばになります。川が流れ、橋がかかり、水車がまわり、やがて大都会を流れる大河へと成長します。広場には市がたち、沢山の人たちが行き来してにぎやかで楽しそうです。

河はやがて海へながれこみます。最後のページにはボートをこぐひとりの人物が小さく描かれ、岸には一頭の馬が首を人物にむけて立っています。この馬に乗ってきたのでしょうか？ 馬を残してこの人はどこへいくのでしょうか。いろいろ思い巡らしてしまいます。世界は広く、見たこともないところがいくつもあって、多くの人々が自分たちと同じように生活をしているという当たり前のことが胸にじんときる、素敵な絵本です。



絵：安野光雅  
福音館書店

## 黄土高原の植物⑳

## おまえ里(砂地)へ、わしゃ山(黄土高原)へ

KFG顧問 徳岡正三(元高知大学農学部教授)

### アブラマツとハイラルマツ

「おまえ」はハイラルマツ(樟子松)、「わしゃ」はアブラマツ(油松)である。

筆者が砂地・砂丘の緑化に興味を持ち、はじめて手にした本が「治沙造林学」(治沙は砂地・砂丘を植物などで覆い、飛砂が起らないよう固定すること)である。この中に15の緑化に適する植物が紹介されていた。ハイラルマツがその中の1つであった。アブラマツはなかった。

ハイラルマツとアブラマツを比較してこの本は次のように述べる。同じ条件の砂地では、ハイラルマツはアブラマツに比べ樹高、直径とも大きくなり、耐乾性、耐寒性の面でも優れ、病虫害にも強い。

「ハイラルマツとアブラマツ、どちらを植えるか」選択を迫られたとき、植栽地が砂地・砂丘であれば「ハイラルマツでしょ」となる。

一方「油松」という表題の本は、アブラマツの植栽適地の1つとして黄土高原の南部や東部を上げている。これらの地域は降水量がやや多いところである。さらに興味を引くのは、アブラマツはある程度海拔が高いほど成長がよいことである。

1つの結論は次のようになる。アブラマツは、寒冷と乾燥には少し弱い、やや海拔の高い山地で

は少し降水量が多くなるためよく成長できる。対するハイラルマツは相対的に寒冷・乾燥に耐え、砂地・砂丘の広がる低地・平地に適地がある。

ということで、どちらかといえば黄土高原ではアブラマツ、フルス村や2013年から協力をはじめたハリサリ村のような砂地・砂丘の広がる場所ではハイラルマツの植栽が望めるということになる。

しかし、治砂で有名な遼寧省彰武県の章古台などでは両方のマツの成長に差がみられないようだ。この2つのマツの成長適地について、その理屈の解明がもっと必要なようだ。

さて、ハイラルマツとアブラマツを見分けるポイントをあげてみ

よう。1つは葉の長さである。

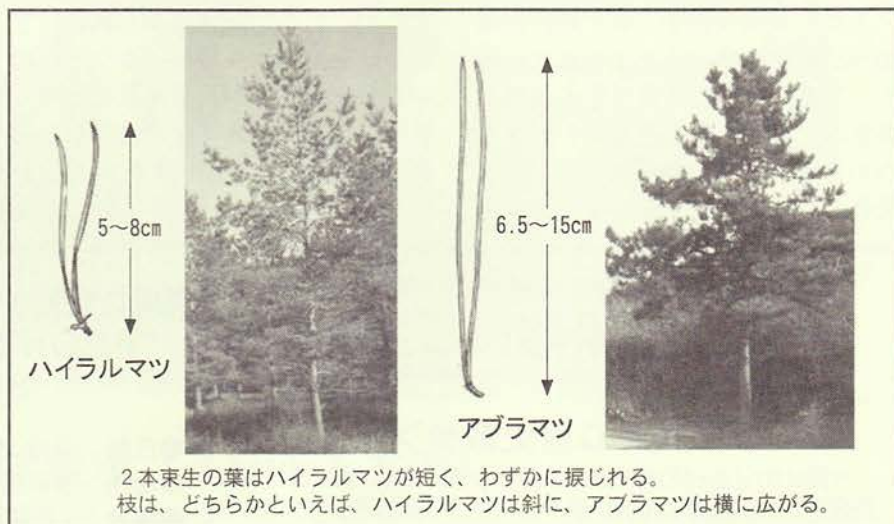
アブラマツ：針葉の長さは6.5～15cmあり、針葉は振れない。

ハイラルマツ：針葉の長さは5～8cmあり、針葉はわずかに振れる。

遠くからみるときは、幹から枝がどのように出ているかに注目する。

アブラマツ：どちらかといえば、枝が水平方向に出ている。

ハイラルマツ：枝が斜め上方向(幹からより鋭角)に出ている。樹形がアブラマツはずんぐりむっくり、ハイラルマツはすらっとしているという話もある。しかし、樹齢が20年生以上になると、枝の出方や樹形で正確に見分けるのはむずかしくなる。葉の長さや振じれぐあいで識別するのが一番簡単で確かだろう。



## 六甲山クリーン&グリーン活動

## 六甲山クリーンアップ活動

— 身近にできることから始めよう —

神戸市再山のハイキングコースの清掃をします。

- 開催日時 平成27年9月26日(土)  
※雨天順延
- 集合 華僑会館 午前10時00分
- 服装 長袖、帽子、運動靴
- 持参品 弁当、飲み水、軍手、雨具  
タオル、ゴミ袋

参加できる方は  
事務局までお知らせ下さい

### 六甲山植樹 -11期植樹-

- 開催日時 平成27年3月7日(土)  
※雨天順延
- 山桜の他、約50本の苗を植える予定です。
- 集合場所 JR住吉駅南広場  
午前9時00分
- 服装 長袖、帽子、運動靴
- 持参品 弁当、飲み水、軍手、  
雨具、タオル

### 六甲山植樹 -11期植樹地-

- 開催日時 平成27年3月7日(土)  
※雨天順延
- 下草刈り作業  
(雑草抜き・手鎌による刈り取り)
- 集合場所 JR住吉駅南広場  
午前9時00分
- 服装 長袖、帽子、運動靴
- 持参品 弁当、飲み水、軍手、  
雨具、タオル

私と環境(21)

# 庭木の健康診断 ⑬

## 庭の手入れ - ツバキ -

樹木環境研究会議「ミルフィーユの会」  
天野孝之

ツバキは、木偏に春と画きますが、この字「椿」は漢字ではなく「峠」や「榊」と同じ日本で作られた漢字「国字」です。初春に花が咲くので、「椿」なのでしょう。中国では、「山茶」(別名 山茶花、耐冬、曼茶羅)と、以前植樹ツアーで出かけた蘭州市の空港で入手した切花図鑑に書かれています。「山茶花」は日本では「サザンカ」と読みますね。



ツバキの仲間には、サザンカ、チャノキなどがあります。また特に椿は園芸品種が数多く作り出されています。写真のように八重咲きの品種も多数みられ、また花色も赤、ピンク、白から最近では黄色が現れました。黄色い花を咲かす「金茶花」を中国

から入手し、日本のツバキと掛け合わせて各種黄色い花を咲かす椿が作り出されています。

庭によく植栽され、冬の花の少ない庭に明るさを添えてくれます。高く生育しても4-5mほどで大木にはなりません。緑濃い葉の中に、赤、白、黄色の花を楽しんでみては、いかがでしょうか。栽培管理もさほど難しいものではありませんが、時々、写真のようなチャドクガというガの幼虫、毛虫が発生します。字の通り茶の仲間には発生する「毒蛾」で、毛虫の毛や成虫の蛾の鱗粉にも毒成分が含まれ、触るとかぶれ、痒くなります。チャドクガの幼虫は、年2回、4-6月ごろ、7-9月ごろ発生します。老齢幼虫は地表に降り、繭を作ってさなぎになります。若齢幼虫は写真のように集団生活をしているので、庭に出た時はよく見て回り、見つけ次第ビニル袋等に取り込み踏み殺してしまうか、薬剤散布を行います。農薬は、スミソン乳剤を2000倍に希釈して幼虫に散布します。あるいはGFオルトラン水和剤を

1500倍に希釈して散布します。乳剤、水和剤等の希釈液を作るのが面倒な場合は、園芸用キンチョールE等スプレータイプも市販されています。いずれもツバキのチャドクガに登録が取れています。農薬の使用は、作物名(庭木の場合は樹種名)と適用害虫名(病害の場合は適用病害名)を確認してから使用してください。判らなければ農薬販売店で、店員に庭木の種類と発生した病害虫名を話して購入してください。



### 親睦会開催のご案内

#### <KFG歴史散歩>

今回は明日香村の古代遺跡を訪ねます。最近も新しい遺構が発見され話題をよんでいます。古代史の舞台を歩きます。

- 日時：平成27年4月4日(土曜日)
- 集合：近鉄「榎原神宮前」駅東改札口 午前11時
- その他：歩き慣れた靴・服装にてご参加ください。小雨決行。

会員間の親睦を図るために  
下記の行事を開催します。

#### <筍・採り山菜>

- 日時：平成27年4月18日(土曜日)
- 場所：京都府南山城郡和束町
- 集合：JR加茂駅改札口 午前10時
- その他：持参品は昼食・飲み水・軍手・タオル 雨具。作業のできる服装でご参加ください。小雨決行。



### 事務局からのお知らせ

#### 第12回通常総会開催のお知らせ

【日程】 2015年5月30日(土)  
(午後1時より)

【会場】 中華会館

(神戸市中央区下山手通2)

※総会終了後は講演会と親睦会の開催を予定しております。  
(総会の詳しい予定は書面にてご案内します。)

### 会費・緑化支援金等協力者のお名前 (2014.7.1~2014.12.31 現在)

●前号で掲載できなかった会員も含まれています。

石 嘉 正	藤原雅信	松 昭	芦 田 正 毅	葉 根 栄	永 倉 弘 一
大 谷 兆 一	下 昭	武 本 由 美	武 本 由 美	宮 島 昭 周	池 田 智
黄 禹 生	劉 友 榮	劉 美 榮	劉 美 榮	西 川 鎮 恵 樽	(株) 匠
許 永 坤	高 岡 秀 行	吉 村 克 規	吉 村 克 規	岡 千 榮	四 方 田 文 夫
譚 佐 華	日 高 隆 義	池 田 雄 二 郎	池 田 雄 二 郎	池 田 久 仁 子	堺 屋 和 夫
江 洋 龍	村 上 鷹 夫	劉 正 勝	劉 正 勝	元 吉 徹	塩 田 茂 子
原 博 司	愛 新 翼	吳 慶 藝	吳 慶 藝	千 文 博	吉 川 正 和
嶋 宏 一 郎	陳 明 德	楊 震 雄	楊 震 雄	花 田 印 刷	
石 進 通	阪 井 一 命	何 慧 美	何 慧 美	青 木 明	

●順不同・敬称略